

進相コンデンサで省電力を実現したアーク溶接機

登録番号	第 00239 号		
登録年月日	2017（平成29）年9月12日	登録区分	第一種 （大量生産品等同様のものが複数あるも
名 称 （型式等）	高力率型交流アーク溶接機 LAW-300-3型		
所 在 地	大阪府豊中市 パナソニック コネクト株式会社		
所 有 者 （管理者）	パナソニック コネクト株式会社		
製 作 者 （社）	松下電器産業株式会社		
製 作 年	1961年		
初 出 年	1957年		
選定理由	放電を利用したアーク溶接はあらゆる産業分野で大きな役割を果たしている。交流アーク溶接では電気の向きが変わる度に放電が消滅する。再放電に必要な高い電圧をリアクタンスで得るため、電圧より電流の波形が遅れる位相差が生じ、仕事に使われない余計な消費電力となっていた。本機は位相差を解消する進相コンデンサで、大幅な節電を実現した世界最初期の高力率型可動鉄心形交流アーク溶接機である。溶接技術の発展を示す資料として重要である。		
登録基準	一ーイ（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの）		
公開・非公開	非公開		
写 真			
その他参考となるべき事項			